開校１５０周年記念スローガン：未来へつなごう！ひとみかがやく和土っ子スマイル

学校教育目標　未来に向かって力強く生きる　ひとみ輝く　和土っ子の育成

～　やさしい子：やさしさいっぱい　かしこい子：かいっぱい　たくましい子：やる気いっぱい　～

和土小だより

さいたま市立和土小学校
令和５年　５月２６日（金）
６月号　発行者　池田　誠

〒339-0033　さいたま市岩槻区黒谷１３５３番地　TEL048-798-0208 ／ FAX048-798-8730
学校 Web ページ：https://wado-e.saitama-city.ed.jp/　Eメール：wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数　１６０名

１５０周年のお祝いです

校長　池田　誠

【見事に咲くクリンソウ】

本校の木々の緑が濃くなる中、じゃぶじゃぶ池には、とても小さなクリンソウ（九輪草）が咲いています。サクラソウの仲間で、高さ４～５０㎝。花は地上から伸びた花径の先に数段に輪生してつきます。 花径は２～３㎝で、花の色は紅紫色です。

さて、５月２９日は本校の開校記念日です。明治６年４月に南下新井に設立された飯塚学校から始まります。その後、明治２１年に和土村が組織され、この黒谷地区に移転し、今年で開校１５０周年を迎えました。学校に残っている記録を紐解いてみますと、１，０００名を超える児童が在籍した時期もあり、令和４年度末までに卒業した児童は８，１０４名となっています。さらに、保護者や地域の皆様のご協力のもと施設や設備の充実が図られつつ、地域の方々と一緒に特色のある行事を行っていたようです。また、戦時中には東京からの学童疎開児童を受け入れた時期もあったようです。私たちの諸先輩方のご努力も感じるとともに、多くの方々のご尽力のおかげで、今の和土小学校があることがわかり、感慨深く思っています。今後とも地域とともにある学校として、教育活動に心を込めて取り組む気持ちを新たにしたところです。

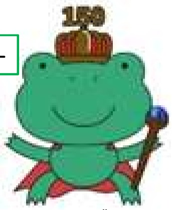
そして、記念事業として、今週末に開催する運動会後にバルーンリリースを行います。この和土小学校の長い歴史に思いをはせながら、自分の夢や、和土小学校・和土地区の未来への思いを乗せ、バルーンを飛ばしたいと考えています。

先週１８日（木）には、令和５年度第１回学校運営協議会を開催し、１１名の委員にご来校いただきました。今年度の学校運営に関する基本的な方針等を説明するとともに、「和土地域で育つ子どもたち」というテーマで熟議も行いました。未来の子どもたちを学校・家庭・地域でどのように育てていくか、委員それぞれの立場でご意見をいただきました。引き続き、このテーマで熟議を行っていきます。委員の皆様からのご意見も学校運営に生かしながら、協働して子どもたちの豊かな成長を支えていきたいと考えています。

本市では、来月６月を「いじめ撲滅強化月間」としています。いじめの問題について考え、いじめが起きない集団や学校を作ろうとする意識を高め、児童の豊かな人間性や社会性をはぐくむ取組を充実させ、いじめの未然防止に努めてまいります。児童の思いが広がり、いじめを許さない気持ちを一人ひとりに一層醸成させ、いじめをしない・させないことを目指してまいります。

間もなく梅雨の時季となります。天候が不安定になる中、保護者の皆様、地域の皆様も、気持ちだけでも爽やかにお過ごしいただけるよう願っております。

開校１５０周年キャラクター



☆☆ 和土小の１５０年、そして未来へ ☆☆

【学校のシンボル　カエル池】

○昭和５９年１月２６日　観察用池完工式

昭和５８年度卒業生から卒業記念品として、観察用池を寄贈していただきました。池の中心には、当時の小泉幸雄校長先生自筆による「慈しむ心」という文字が刻まれ、親子ガエルが子どもたちの成長を見守っています。

≪岩槻市立和土小学校ＰＴＡ広報誌「わこう」より≫

現在も子どもたちに大人気の通称「カエル池」です。ザリガニや小魚が見られます。口元から水面まで立派に苔むしています。真冬になると、カエルの口から出ている水が凍ります。願い通り、子どもたちを温かく見守っています。